

WHO ファクトシート

アフリカ・トリパノソーマ症（睡眠病）

Trypanosomiasis, human African (sleeping sickness)

2017年1月

重要な事実

- ・睡眠病は、病気を感染させるツェツェバエがいるサハラ以南アフリカ 36 カ国だけで発生している。
- ・ツェツェバエに晒され最も罹患リスクが高いのは、農村部に住み農業、漁業、畜産、狩猟に従事している人々である。
- ・アフリカ・トリパノソーマ症は、感染した原虫によって2つのタイプがある。報告された症例の98%以上は、ガンビアトリパノソーマの感染によるものである。
- ・持続的な制御努力によって新規症例は減少してきた。感染報告例は、2009年には50年間で初めて1万例を切り、2015年には2804例であった。
- ・この疾病の診断と治療は複雑であり、特に熟練したスタッフを必要とする。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Trypanosomiasis, human African (sleeping sickness)

ファクトシート原文は[こちら](#)